☀温室効果ガスの現状

日本においては、エネルギー起源の温室効果ガスが約9割を占めていま す。また、市ではエネルギー起源の温室効果ガスのうち、約4割が電力、 約2割がガソリンなどを使用する自動車となっています。

温室効果ガス排出量

(単位:百万 t - C O 2)

区分	排出量	備考
日 本 (2017年度)	1,291	うち、エネルギー起源 1,110
佐渡市(2016年度)	0.39	うち、エネルギー起源 0.35

☀市の取り組み

2020年2月に佐渡市と粟島浦村は、「ゼロカーボンアイランド宣言」を 行い、2050年С○2排出量実質ゼロの実現に向けて取り組むことを表明し ました。

今後、市は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき「佐渡市地 球温暖化対策実行計画(区域施策編) の策定を計画しています。また、 2019年2月に新潟県が発表した「自然エネルギーの島構想」を実現する ため、県、電力事業者、粟島浦村などと連携して、再生可能エネルギーを「増 やす」「需給調整する」「使う」取り組みを推進することとしています。

☀市の補助事業

再生可能エネルギーを積極的に利活用するため、太陽光発電設備の有効 活用と災害時も含めた自立的な電力を確保するための補助制度を設けてい ます。

(1) 蓄電設備設置費補助金

【予算額 2,100 千円、補助率 2 分の 1 (上限 210 千円)】

太陽光発電設備により発電した電力の自家消費を推進するため、住宅用 蓄電池の設置にかかる費用の一部を補助します。



原因

地球温暖化の主な原因は、 地球温暖化に伴う気候変動の影響と考えられる、 私たちが毎日使っている電気やガス、移動の手段に使っている自動車など、エネルギーの生産

や消費の段階で発生する温室効果ガスであると考えられています。